

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	22 / 2007 / 37
タイトル	問屋町の植え込みにセグロセキレイが営巣
著 者 名	石郷岡總一郎

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

問屋町の植え込みにセグロセキレイが営巣



(協)青森総合卸センター撮影

2007年6月17日、青森市問屋町に有る建物の植え込み(ドウダンツツジ)に、セグロセキレイが営巣していることを確認した。たまたま、30分程観察が出来たので簡単に報告する。

以前から同所にてセグロセキレイを何度か見かけていたので若干の注意を払っていた。当日の朝8時頃、待ち合わせの為同所にいた。餌をくわえた親鳥が歩道の端(建物から約十数m)に降り、辺りを警戒しているような行動をとっているのに気づいた。1～2分後、最初の場所と建物の中間地点(約5m)まで移動、同じような警戒を行っていた。暫くして、ある植え込みのそばに移動し、辺りを警戒しながら植え込みの陰に消えた。十数秒程経過後、近づいた方向とは反対側から外に飛び出し

た。20m程離れた高所に留まり、若干の時間辺りを見回すような行動を取った後、飛び去った。餌はくわえていなかった。周りから親鳥が消えた様なので、その植え込みに近づき、中を覗いたところ、巣が有ることを確認した。下方からの確認なので、雛の様子は不明であった。外からは、充分注意しなければ発見できないが、建物の中からは巣の一部を見ることが出来るようだ。

後日、建物の関係者に確認したところ、雛は3羽いるとのことである。その後も餌を運ぶ様子を何度か目撃したが、ほとんどの場合親鳥を1羽しか見なかった。ただ、一度だけ二羽のセグロセキレイが巣を挟むように、それぞれ約20m程離れた場所にいたのを見かけたことがある。

営巣地は問屋町の中でも人通りが多い場所であり、また駐車場のすぐ脇でもある。そのような場所に巣が作られた事に驚かされたが、周りの見通しが良く、カラス(しばしば近くを飛んでいる)やネコ(ほとんど見かけないが)なども寄りつかない場所なので、かえって安全性が高いのかもしれない。

(25代 石郷岡)

追記: 2007年6月下旬、無事巣立った様だと伝え聞いた。